

## 募集とお知らせ

### ■門松づくりに挑戦してみませんか

今年も早いもので、気がつけばもう師走。2012年の足音も近づいてきました。自作の門松を飾って新年を迎えてみませんか。初めての人でも大歓迎です。お気軽にお申し込みください。

- 日時：12月20日(火) 午前9時～正午
- 場所：学びいな 研修室D・E
- 内容と費用：①ミニ門松(30号程度1対)1,500円  
②門松(110号程度1対)2,000円
- 講師：町シルバー人材センター
- 定員：①20人 ②10人
- 申し込み：12月15日(木)までに学びいな窓口にお申し込みください(申し込み時に、①か②の希望をお知らせください)。

- 左 ①ミニ門松(30号)  
右 ②門松(110号)



### ◆学びいな・図書室の休館日◆

学びいなと図書室の年末年始の休館日は次のとおりです。

12月26日(月)、12月28日(水)から翌年1月4日(水)までの間、1月9日(月)

## 第10回「母から子への手紙コンテスト」入賞作品が決まりました

第10回を迎えた「母から子への手紙コンテスト」の審査が終了しました。

10月16日の一次選考会では、町内のお母さん76人が、応募総数1,828点もの作品の中から、51点の最終選考作品を選びました。11月1・2の両日開かれた最終選考会では、芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久さん、エッセイストの大石邦子さん、春日居郷土館・小川正子記念館名誉館長の末利光さん、一次選考委員代表の小林光子さんの4人が厳正な審査を実施し、大賞、準大賞、郵便事業株式会社賞、10周年記念特別賞を各1点、優秀賞7点、佳作39点の入賞作品50点が決定しました。

見事、大賞を受賞した菊池孝子さん(福島県)の作品を紹介します。

### ■編み物教室の参加者を募集します

あなたの手元に、編みかけのものや編み方が分からなくなってしまった編み物はありませんか？

古川和子さんが講師を務める編み物教室では、全員が同じ作品を作るのではなく、一人一人の作品に合わせた指導をします。受講を希望する人や詳しい内容を知りたい人は、下記に問い合わせてください。

- 期日：24年1月11日(水)、18日(水)、25日(水)  
2月1日(水)、8日(水)
- 時間：午前9時～午後3時
- 場所：学びいな 研修室
- 受講申し込み・問い合わせ先  
古川和子さん(松橋) ☎(66)3339

### ■成人式の申し込みはお済みですか

平成24年の成人式を下記の日程で開催します。参加を希望する人で、まだ申し込みを済ませていない人は、学びいなに申し込んでください。

- 日時：24年1月8日(日) 午後2時
  - 場所：学びいな ☎(72)0180
  - 対象：平成3年4月2日から4年4月1日までに生まれた人
- ※申し込んでいなくても参加できますが、12月22日までに申し込みがない場合は、当日配布する成人式の資料に名前を掲載することができません。あらかじめ、ご了承ください。

お母さん、行って来るからとの一報を受けた時は真っ白になった。  
あまりにも唐突で、気持ちの整理もままならぬ中、頑張ってきたと言いたくもなかった。  
本当は放射能の中への突入なんてあり得ない、やめてって叫びそうだった。  
東京消防庁への道を選んだとき、反対しとけばよかったとさえ思った。  
これって、お母さんのエゴなのでしょうか。  
テレビに釘付けの一日の何と長いこと。  
無事であることを祈るばかり。  
そう言えば謙はどら焼きが好きだった、忙しくてすっかり抱っこもしてやれなかった等、何故か遠い昔のたわいもないことが  
どんどん駆け抜けていった。  
「ミッシェン達成」のメールが届いた時は涙が出てしまった。  
二十ミリシーベルトの放射能を浴び、決死の覚悟で任務に挑んできた一員として、自信にあふれたあなたの姿こそ、お母さんの誇り。  
お疲れ様でした。  
(追伸) 浴びる程飲ませつつお、待つてろ。  
ってお父さん言ってた。

## 「健全な社会環境づくり運動」 標語の入賞作品が決定

町青少年健全育成町民会議が募集した「健全な社会環境づくり運動」標語の審査が行われ、今年は510作品の応募の中から、各部門の入賞作品が決定しました。それぞれの部門の最優秀作品を紹介します。

- 小学生の部 猪苗代小学校 涌井 明穂さん  
言えたかな 心の底から ありがとう
- 中学生の部 東中学校 会田 聖矢さん  
あいさつで 元気あふれる 猪苗代
- 高校生の部 猪苗代高校 佐藤 美幸さん  
ひとりじゃない 温かい手が重なれば  
強い絆で結ばれている
- 一般の部 神明町 篠原 ミツさん  
原発事故 みんなの力で復興を  
今こそ示せ 会津の魂

## 学びいな秋まつりが開催されました

毎年恒例となりました学びいな秋まつりは11月5、6の両日(土・日)、学びいなで開催されました。今年は昨年の来場者を大幅に上回る、約1,300人が来場しました。

学びいなホールでは、体験交流協会加盟団体のステージ発表に加え、青少年メッセージ2011の各部門で最優秀賞に選ばれた加藤咲希さん(緑小6年)、小野田幸実さん(猪中3年)、難波彩香さん(猪高2年)の発表も行われました。

館内の研修室では、町主催講座受講生の作品展示や高齢者作品展が行われ、温かみのある作品の数々が、見る人を和やかな気持ちにさせていました。

外のテントコーナーでは、町赤十字奉仕団による募金活動と豚汁サービス、食生活改善推進員の皆さんによるキーマカレーの販売などのほか、山菜おこわ、焼きそばやチョコバナナなども販売され、収益金の46,230円が社会福祉協議会に寄付されました。

猪苗代八景と言え、金曲の落雁「壺下の夕照」「観音寺の夜雨」「吾妻の秋月」などである。保科公のブレイクの一人、山崎闇斎が、近江八景にちなみ選定したものとされている。

これとは別に、町観光協会が主催して、心に残る猪苗代の新八景を再発掘し、町づくりにつなげようとする事業が2年前に発足した。「新八景コンテスト」と題して応募が始まり、数回の審査を経て12カ所に絞られた。

最終審査会は6月22日、町の駅まるしめで開催された。記名投票による審査が行われ、1回目の投票で6カ所が決まった。あと2カ所となり、当落線上に天鏡台、白糸の滝、天神浜が同数で並んだ。最終投票の結果、天神浜と天鏡台が残った。新八景は、天神浜、観音寺川、達沢溪谷、中津川溪谷、土津神社、亀ヶ城址、天鏡閣、天鏡台の8カ所となった。

旧八景にはそれぞれ、詞書(題名)に当たる和歌が一首添えてある。

例えば「観音寺の夜雨」は【山寺の聞くに声なき夜の雨あかしかねたる枕にぞ知る】(二夜の宿に寺を訪れた旅の僧か何かが、静寂の夜、しとしと降る雨に眠りを妨げられ、あれこれ思いわずらう様子を詠んだものか?) 誠に風雅なものである。

新八景についても、絶景ポイントの説明が何かが欲しいところである。

(土屋)

## ライオンズカップ ジュニアサッカー大会の結果

第14回猪苗代ライオンズカップジュニアサッカー大会は11月6日(日)、町運動公園で開催されました。悪天候にもかかわらず、熱戦が繰り広げられ関係者の応援にも熱が入りました。最も活躍した選手に贈られる最優秀選手賞には、寺林裕也君(千里スポ少A)が選ばれました。試合結果は以下のとおりです。

- 優勝 千里スポ少A
- 準優勝 吾妻スポ少
- 第3位 猪苗代スポ少



写真は優勝した千里スポーツ少年団Aの選手たち



和裁、洋裁、写真、絵画やリサイクル品など、さまざまな作品が展示されました



ステージ発表のオープニングを飾った「いなわしろ天鏡太鼓」の勇ましい演奏